

牛歩の道

題字 牛歩の道 揮毫 東予・周桑教育会OB 臼坂 了 解説は3面



発行所
（公財）愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 東雲小学校
- (3) 地区教育会、たより(内子)ローカルトピックス
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ

「花」と「玉ねぎ」



元 西条教育事務所長

星加映二

忘れられない一枚の年賀状。それは、平成二十年にK先輩から頂いたもの。そこには「見た目にいくら華やかで、艶やかでも、造花には真に人を引きつける魅力はない。いくら実力があっても傲慢で鼻もちならない人に、人間の魅力はない。『花は香り、人は人柄』香りある花になりたい。」と。更に続く。「本物の花には香りがある。可憐な美しさもあり、心を癒す。そして、惜しまれながら枯れてゆく。だから愛おしい。人も同じで、その人なりの香りが必要。香りとは人間的魅力。それが人柄なのだ。」と。

私は、これを書きとめ、今でも時々読み返している。

昨年十月に、ノーベル賞を受賞した山中伸弥京都大学教授の第一声。それは、家族や仲間への「感謝」の言葉。研究成果はもちろん、教授の家族や仲間への気配りなどに、感銘した。テレビに映し出された山中教授の姿を、今でもはっきり覚えていて。彼の様な人を「香りある花」と言うのだと、私は思う。

身近にも、そういう人が何人かいる。野菜ソムリエのT女史もその一人。

「自分を野菜に例えるなら」と彼女に質問。「玉ねぎです。玉ねぎは、主役ではないけれど、食材の味を引き立て、年中利用可能。しかし時に『新玉ねぎ』という旬があつ

たりする。生でよし、煮込んでよし。地味だが甘味・辛味と変化し、困った時必ずそこにあるお助け材料的な私。これがT女史の答え。「なるほど」と感心。それと同時に、今までの自分の生き方を反省させられた。

「お助け材料的な私」は、彼女の「生き方」であり、人間の魅力そのものである。彼女も、また、山中教授同様、「香りある花」と言える。

これからの教育現場や行政等に必要なこと。それは、「造花」ではなく「香りある花」である。そして「お助け材料的な私」に光を当てる取り組みが今、求められていると、私は思っている。

現在、野菜を育てながら、週三回のターゲットボードゴルフを愉しんでいる。

今日もまた、野菜畑や河川敷で「香りある花」を見つけ！

一略 歴一
(ほしか・えいじ)

昭和39年 北九州大学外国学部米英学科卒業
昭和61年 西条教育事務所指導主事
平成4年 西条市立玉津小学校長
平成6年 西条教育事務所管理主事
平成8年 西条教育事務所教職員課長
平成10年 西条教育事務所長
平成12年 西条市立神拝小学校長
平成13年 神拝地区公民館長
平成17年 西条市教育委員会教育長
現 西条市教育委員会社会教育委員
現 西条市青少年育成センター運営委員

響びょう聞きこ

美しく磨いた鏡は、美しいありのままの姿を映し、曇っておれば決して美しく映せない。心の鏡も同じ。他を思いやる心などをいつも磨いておれば、必ず素晴らしい風景を見ることが出来る▼「人は誰でも生まれながらにして美しい心(良知)を持っている。自我に囚われず、その心を汚さず鏡のように綺麗にしておくこと(致良知)と説いた儒学者中江藤樹▼藤樹はこれを具現化するため「五事を正す」を示した。五事とは、普段の生活や周りの人々との交わりの中で、「貌」和やかな顔つき、「言」思いやりのある言葉、「視」澄んだ目で物事を見つめ、「聴」耳を傾けて人の話を聞き、「思」愛敬の心をこめて相手のことを思いやること。人が生まれながらにして持っている正しい心を高める道である。道徳荒廃がいわれている現在、改めて学ぶべきことである▼美しい心という人間の最良の部分を引き出すために学問がある。藤樹の教えは、現在の競争原理の学問に慣れきった私たちに「何を学ぶのか」という根本を問うている。

ひとこと

スポーツ観戦



愛媛県小中学校長会 副会長 山口 雄三

「おい、何しよるんぞ。」と応援したり野次を飛ばしたりと忙しい。そんな一喜一憂する私の姿を、妻が呆れ顔で見ている。

スポーツで爽やかな汗をかいたのは随分昔のような気がする。最近かくのは、冷や汗と脂汗くらいである。元体育教師だった私、若い時には生徒とともに走り回り、汗は生活の一部であった。それが今では力士体型、重い体を動かすことが億劫となり、スポーツとは縁遠い生活をしている。

勤務校の体育大会では、借り物競走に出て生徒と一緒に走った。つい場の雰囲気にか酔いしれて頑張り過ぎ、不覚にも太腿に肉離れを起こしてしまふような情けない思いもした。だから今は、もっぱらスポーツを観戦する側に回り、私の一番の楽しみになってきている。テレビで試合の大事な場面では、「いけーっ、やった。」

さて、昨年も多くは多くのスポーツのイベントがあった。ロンドンオリンピックを筆頭に、海外に進出して活躍が目立つサッカーや野球の試合、国内の種目の大会等、数えたらきりが無い。試合観戦の醍醐味は何といっても勝利する瞬間を当事者のごとく味わえることである。大会に出場するだけでも素晴らしいことなのに、やはり私は勝ってもらいたい。優勝して、金メダルを獲得してもらいたいのである。これは、観戦する側のエゴかもしれないが、ここにくるまでの血の滲むような苦勞を察するが故に、一進一退の場面で、勝利を引き寄せてほしいのである。

勝利した時の大きな興奮と感動を、これからも味わいたいと思っている。
(大洲市立大洲南中学校長)

学校紹介

No.136

松山市立東雲小学校

東雲小学校の今…

そして「誇りと絆」

本校は、校区内にある文化財や地域の人材を、フルに活用した体験型・探求型の学習を全学年で取り入れている。例えば、毎年、松山城や秋山兄弟生誕地で、四年生が観光客を案内する活動がそれである。ふるさとを愛する心を育み、コミュニケーション力を高めることを目的としている。



東雲小児童が活動をするガイド

キャリア教育の視点として、夢の達成のためには、「自分でスモールステップの目標を設定し、それを日々クリアしていく力」と「夢を持ってチャレンジする姿勢」とが相互に関わっていくことが大事である。日々の授業や学校行事を通して子どもたちはこつこつとそれらを学んでいるのである。

キャリア教育の視点として、夢の達成のためには、「自分でスモールステップの目標を設定し、それを日々クリアしていく力」と「夢を持ってチャレンジする姿勢」とが相互に関わっていくことが大事である。日々の授業や学校行事を通して子どもたちはこつこつとそれらを学んでいるのである。

併せて、本校では、六年間通しての経験の連続性を大切にしたいキャリア教育のカリキュラムを開発している。子どもたちが、自分の将来を考えるときに参考となる大人のモデルを地域から探し、自らの将来に向けて希望あふれる夢を描いたり、目標を定めたりすることをねらうものである。

また、今年度は、地域力の一つとして、医療と教育との連携で、日本赤十字成育コミュニティ・ボランティアの力を借り、支援（子どもや保護者の相談活動や多忙な教員への教育支援等）を受けた。「やるときは、徹底してやる」

脈々と流れてきた「誇りと絆」の伝統を守りつつ、新しい風を巻き込んで、東雲小学校の歴史は刻まれていく。平成二十七年には、松山市の教育研究所が隣接したワークスペース型の四階建ての新校舎も完成する。新校舎に負けない素敵な東雲っ子が育つことを期待したい。

(校長 池谷三和子)



校庭の石碑

活動の詳細はホームページをご覧ください。
shinonome-e.esnet.ed.jp

題字に寄せて

牛歩の道



東予・周桑教育会OB 臼坂 了

この言葉は、ある林学徒の足跡を記された本の題目である。著者は、若い頃より、孤高の姿に限りない憧れを覚えていた。「故あって栽桑学を経て、林学を学び、森林経営学を専攻したが、果して『孤高の精神』を貫けたであろうか、ほとんど否である。思えば単に馬齢を重ねたにすぎない。」と厳しく自責されている。

地区教育会だより

内子教育会

新たな活動

への挑戦



内子町天神小学校 校長 大宇根秀夫

内子教育会は、平成二十四年度より教育会喜多支部から名称を変更しました。あわせてこれまでの活動内容の見直しも行いました。その中から、今年度新たに始めた活動を紹介します。一つは、囲碁教室です。七月二十八日、五十崎自治センターで行いました。今年度は五十崎地区の児童生徒から募集し、十名の参加がありました。指導は、内子教育会の三名の講師の先生方です。囲碁が初めての児童も八名いました。しかし、丁寧な教えていただき、二時間の講習時間内で、簡単な囲碁の対戦ができるようになりました。次年度も参加したいという児童生徒も多くいました。少しずつ規

模を広げながら継続していきたいと思っています。

もう一つは、学習支援事業です。今年度から、あけぼの人権学習の支援をすることにしました。あけぼの人権学習は、七月二十五日から平日の午前中、五日間行われました。内子町では、児童生徒の学力向上に向けての取組を行っています。その中で、OBの先生方にも何らかの支援をしていただく方策を模索中ですが、こうした学習支援も一つの方法だと考えています。今年度は六名のOBの先生方に参加していただきました。好評でしたので、今後も継続していきたいと思っています。



あけぼの人権学習会支援事業

ローカルトピックス

冬の風物詩

毎年冬になるとキラキラ光るイルミネーション。なんとその光は学校田から。ここは、西条市立飯岡小学校の学校田です。毎年、地域の健全育成協議会の方々が趣向を凝らし飾り付けをしています。ちよんご国道からも見ることででき仕事帰りの人々にとつて「ほっ」とできる空間です。飯岡の子どもたちを元気に、そして、故郷飯岡を誇りに思うようにという願いがあると聞いています。さて、一月には、このイルミネーションが片付けられ、とうどに変わり地域のとうど祭りの会場になります。【もみまきからとうどまで】を合言葉にまた四月から飯岡っ子たちが米作りに挑戦です。地域に守られ地域に育てられた飯岡っ子たちは、今日も白い息をはきながら元気に登校しています。かわいい「玉うさぎ」が迎えてくれる私の母校である飯岡小へ。

学校生協ハウジング事業のご案内

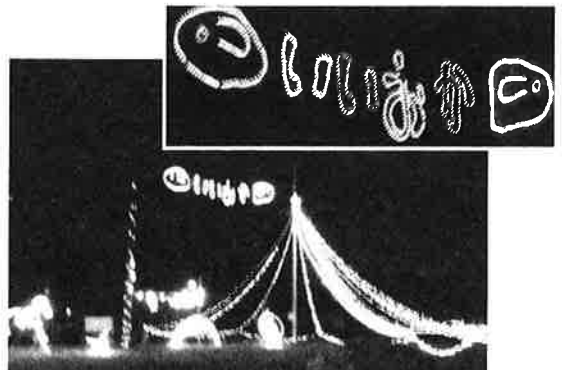
学校生協がハウジングメーカーと提携することによって、学校生協組合員のライフスタイルを応援させていただきます

(学校生協提携メーカー11社)新築・マンション・リフォーム等詳しくは、県学校生協ホームページをご覧ください

お問合せは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089) 925-0555 又は、郡市学校生活協同組合

文教月報編集協力委員 越智 英治 西条市立橋小学校教頭



特集 私の健康法

怒るな・転ぶな・風邪ひくな



新居浜教育会OB 永易まるみ

「怒るな・転ぶな・風邪ひくな」これは古くからお年寄りに諭された長寿へのパスポートである。

健康寿命を全うしたいと願うこの三点を実践している。

①怒るな ②プラス思考

物事には全てに二面性がある。なので、なるべくプラスに捉え、「悪い面七」「良い面三」でも三の方を見ること。例えば、欲しかった服が売り切れていたを「二万円浮いた」と。マイナス思考はどうにもならない事態まで自分を追い込んでしまう場合もある。プラス思考に変えていけば無駄なストレス・イライラ・落ち込みは随分減る。

②転ぶな ③運動

退職と同時にスポーツクラブに入会し、フラダンス、ストレッチ、水泳を約三時間、週二日通って七年目になる。水泳が一番好きで、クロール、平泳ぎをゆっくり泳いでいる。幸いなことに自動車の運転免許を持つていないので、クラブへの往復八キロは自転車を通う。

③風邪ひくな ④食生活

亡き母の信条「お金をかけずに手間かける」を心がけ、主人が作る家庭菜園の野菜や近所から頂く減農薬野菜を中心に、和食・洋食・中華すべて手作りの品が食卓に並ぶ。

朝食後は二人でバナナ一本、季節の果物三百グラムにカスピ海ヨーグルト大さじ三杯かける。カスピ海ヨーグルトは十五年前から自家製である。また、根昆布二枚を二百ccのカップに一日浸した昆布水、風呂上がり主人と半カップずつ飲み、根昆布は溜

めておいて佃煮にする。食べ物に命なら食べ方は生き方であると思う。

自分の足で



今治・越智教育会OB 森 達男

今年三月で、教職をひいてから三十三年になる。いつの間にか九十一歳になって驚いている。私は、小学校入学前、小児喘息で病弱な子どもでもあった。今治市の医者から、「この子は成人まで育たないだろう」と折り紙をつけられた。小学校教師の母親は、夏休みには湊（現近見小学校区）の石風呂に連れて行って何とか元気な子に育てようとしたが、効果はなかった。親の転勤により、山の上朝倉や海の盛小学校で、家庭学習は全くせず、三歳年下の弟と遊んばかりで、いつの間にか小児喘息はなくなり、頑健ではな

いが大病はしない大人になった。孫娘は「ジーちゃん、退

職後もずっとラジオ体操を続けたから元気だね」と言う。そうかもしれない。しかし、健康法としてではなく、単なる惰性のラジオ体操であった。健康でここまできた最大の要因は、娘が私立の音大に進学したことだと思っている。

夏・冬のボーナスは、全部娘の学費に入れた。車社会に変わ

生きてこれたなあ!!と吾れながら感心しています。毎年実施される町の健康診断でも五臓六腑に異状はなく絶好調を維持しています。

別にこれといった健康食品を食すでもなく、妻の調理してくれる料理を三度／＼食しているだけです。

私の健康・長寿の秘訣と言え、規則正しい生活をする

三気五快



伊予教育会OB 満田 泰三

私は今年で八十七歳を迎えます。よくこの年まで元気

私は、現在三〇アールの畑で、毎日七時から一七時まで

農作業に従事しています。豆トラやトラクターを駆使しながら四季それぞれの野菜を栽培し、自給自足で新鮮野菜を家族皆で食しています。

要は何でも食べること。特に「ニンニク」は最高です。私は餅が大好きでお正月から毎日三月末日まで朝食は雑煮餅を五個食しています。「病は気から」と申します。元氣を出して勇気を持って何事にも取り組めば、「人気」が出ます。百歳万才まで頑張れるようにしたいものです。

リライアブル・タウンの住民として



西予教育会 OB 羽浦 瑩

西予から世界へ発信していく事業が野村町で平成二十一年から進められています。新しい長寿社会のあり方としてリライアブル・タウン基盤構築事業といって「安心して楽しく老いるまちづくり」をい

そのやり方は、光ファイバー網を活用した機器（体重計・万歩計・血圧計）での健康管理と運動教室の実施です。平成二十五年度は、のむらいきいき健康大学の募集も四期目を迎えます。この健康づくりのシステムは、インターネットでつながり合い、愛媛大学・行政・地元の病院・住民が見守り支えあうといった連携を必要とする営みです。

運動教室では、筋トレやストレッチ、ノルディック・ウォーク等をやっています。のむらいきいきスポーツクラブの中にノルディック夢クラブも結成し、いくつかコース看板も設置され、町内には二本のポールを持って歩く人の姿もよく見られます。また、全国ノルディック・ウォーク大会 in えひめや健康生きがいづくりフォーラム等が開催されると、意欲的なこの町の心意気アピールするような参加数です。一方、野村を会場とする愛媛森林浴八十八カ所にも選出されている桂川溪谷等を回るノルディック・ウォーク

大会では、県内各地から多くの方々が来町されます。こうした若さを保つ取り組みは、人々の絆や地域力を高めています。私も高齢者体操初級指導員やウォークのリーダーとしてがんばっています。

一日一日を楽しく



南宇和教育会 OB 山口チエ子

同級生によると来年米寿だそうなんです。ということは、かなりの。そのことも忘れ、一日一日を楽しく暮らしております。

取り立ててこれが私の健康法ですというようなものはありませんが、生来、体が丈夫にできているようです。これは、生家が農家で、あまり裕福ではありませんでしたので、食べ物についても好き嫌いを言うような環境ではなかったこと、また、育った時代も現代と違い、溢れる物の中から自由に選ぶことができなかつたということも幸いし

ているようです。

我が家の冷蔵庫には野菜類がほとんど入っていません。というのも楽しみの一つである家庭菜園で、多くの野菜を作っているからです。必要になれば畑に行き新鮮なものを取り、食卓に並べる。この家庭菜園での作業も健康に一役買っていると思っています。

もう一つの楽しみが、踊ることです。十数年前に病弱であった主人を亡くし、自由な時間が生まれました。その時目にしたのがフォークダンス教室の案内でした。早速入会し現在に至っています。ここでの楽しみは、踊ることは次の次、専ら参加者の皆さんの会話を楽しみ、気持ちを楽しくさせることです。今では、宿毛・御荘の教室に参加をしており、週二回の練習に汗を流しています。何事にも大らかな気持ちで、くよくよせず日々を楽しむ過ごすこと、これが一番の健康法だと思っています。周りの皆さんに感謝の日々です。これからもよろしくお願

あなたの頼れるベンリな一枚。

新スピードカードローン

こんなとき、あんなとき、暮らしのお金をバックアップ。

伊予銀行

※店頭に説明書をご用意しています。※ローンのお申し込みには当行前定の審査がございます。審査の結果、ご希望にそいかなる場合もございますので、あらかじめご了承ください。(平成22年7月1日現在)

はるやまカード会員ご入会のおすすめ

上記の制度にご加入いただきますと、紳士服はるやま店頭価格より10%割引価格でご案内ができ、しかも金利不要月賦で給与支給日に県学校生協へお支払いいただきます。(カード入会金無料)

《愛媛県下、紳士服はるやま各店舗でご利用になれます。》

ご入会のお申し込み及びお問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
又は、都市学校生活協同組合

特集 新任者の声

平成二十四年度新規採用教職員は二三人。公立小学校

一〇一人、公立中学校四九人、県立学校（高等学校、中等教育学校、特別支援学校）八三人でした。職種別には、教諭が一八四人、養護教諭二五人、栄養教諭四人、事務職員二〇人です。

不安や悩みを乗り越えて、素敵な教職員が希望を胸に力強く歩み始めています。

一つ一つ、 そして、一歩一歩



小町市大論教諭 田中 裕子

私は、十一回目の受験でやっと教員採用試験に合格することができました。その間に結婚・出産を経て、今では三人の娘の母になっていました。ここまでとても長い道のりでしたが、講師ではなく、教諭として新しく教員生活を

スタートすることができてとても嬉しく思います。それとともに、教師としての責任の重さも感じていきます。

とにかく、夢は諦めず、挑戦し続けられ、必ず実現するということをもって体験することができました。これからは、このことを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

さて、四月から四年生の学級担任をさせてもらっています。一学期の間は、七転び八

起きの日々で、学級経営の難しさを痛感していました。その度に先輩や管理職の先生方に相談し、アドバイスをいただきました。そして、子どもと一緒に遊ぶことの大切さを学びました。ドッジボールをしてはしゃいだり、けいどうをして走り回ったりすることで、私と子どもとの心の壁がなくなっていくように感じました。二学期からは、ふっと学級経営が楽になり、休み時間には子どもと冗談を言い合いながら楽しんでいきます。しかし、まだまだ課題はたくさん

あります。一つ一つ地道に解決し、一歩一歩前に進んでいこうと思います。そして、教師としての力量を身につけていきたいです。

1年の間で得た宝物



中花市立論教諭 田中 一生

昨年の四月より初任者として立花中学校に赴任してからは、早くも一年が経とうとしています。

振り返ってみると、四月当初は授業中、私語を繰り返す生徒に対してうまく対応できず、私自身、悩んだことがありました。そんな時、ある先輩の先生から「生徒指導の前に生徒理解がある。生徒のことがよく分かっているければ指導はできない。」と、生徒に接する際の心構えについて教えていただきました。この言葉は私の心に深く残りました。そして、教師が生徒をよく見ていないのに、生徒が教師の方を向いてくれるはずがないことを実感しました。

その時から、授業で教えている生徒の性格や友人関係、所属している部活動の様子などを十分に理解していかうと心に誓いました。

それからは、いつも朝早く登校している生徒に気持ちのよい挨拶をしたり、言葉がけをしたりしました。下校時と同様に取り組みました。また、休み時間には生徒と積極的に関わるように努めました。さらに、分かる授業を目指して熱心に教材研究に取り組みむようにしました。副顧問として指導している野球部の練習で、少しでも早くグラウンドに行き、生徒の様子をよく見て、部活動を通じた人間関係づくりにも取り組みました。

このような毎日の教育活動の中で、先輩の先生が言ってくださったことが、少しずつですが実践できつつあるのではないかと感じていきます。

この一年間で得たことを心の糧として、これからは謙虚な姿勢を忘れず、生徒とともに成長できる教師であり続けたいと思います。

人間力あふれる 教師を目指して



小橋市松山教諭 中井美知代

思い返せば、四月の辞令交付式では胸を熱くし、生まれ育った愛媛の子どもたちと関わっていきけることに、感謝の思いでいっぱいでした。あれから十か月、着任した椿小学校の子どもたちは素直で明るく、子どもたちからパワーをもらう毎日です。

初任者研修を重ねる毎に初任者同士の仲間意識が深まり、年齢に関係なく相談し合い、近況報告し合える居心地のよさを感じています。また、指導主事の先生方や講師の方々の講話からは、人間力の大切さを痛感させられます。中島での子どもリリーダーズ研修のときには、参加している子どもたちと過ごす中で、「人ってすばらしい」と感動しました。

正に、学校はさまざまな人が集まった集団の場であり、

ともに学び合うすばらしい所だと思えます。毎日、そんなかけがえのない場所で、希望あふれる子どもたちと関わる事ができることへの感謝と責任の重さを感じます。人が人を教育し、評価するという事は難しいことだと思えます。だからこそ、私は、自己研鑽し、人間力あふれる教師を目指します。

感謝の気持ちと初心を忘れず、いつもどこでも、温かく心通い合う仲間づくりに努めていこうという気持ちを持ち続けたいと思います。

楽をするな、楽しもう



中 橋 諭
山 市 教
松 堀 内 賢 吾

四月に新規採用になって一年が過ぎようとしています。昨年度までの講師の時と違い、教科指導や部活動、初任者研修などで振り返る余裕もなく毎日が過ぎていきました。そのような日々で、思う通りにいかないことはかりで悩むことも多くありました。し

かし、授業や部活動で子どもたちが「分かった!」という表情をしたときの顔を見るたび、大きなエネルギーがわいてきます。

初任者研修では、学級経営や教科指導、諸機関との連携など多くのことを学ぶ機会をいただきました。又とない勉強する機会なので、精励恪勤の気持ちで取り組みました。

学んだことを実践し、子どもたちの充実した表情を見ると、改めて研修のありがたさを感じる事ができました。

そんな研修の中で、「楽をするな、楽しもう。」という言葉葉を聞き、忙しい日々について、楽をしてしまう自分を反省しました。また、授業でも、自分が楽しくなければ生徒も楽しくないと考えるようになりました。そして、忙しい日々にかそ、自分を成長させるチャンスがあるのだと思えるようになりました。

初任者としての日々も残りわずかです。謙虚に学ぶことを忘れず、どのような時にも「楽」ではなく、「楽しく」を選ぶことができるような人間となり、そのような生徒を育

ていける教師を目指してきたいと思えます。

感謝の気持ちをいつまでも



大 洲 小 教
市 諭
大 岡 本 和 也

初任者として早十か月が過ぎようとしています。この十か月を振り返ってみると様々なことがありました。

初任者研修では、多くのことを学ぶよい機会となりました。講師時代には体験できないことで本当に勉強になりました。また、多くの仲間と出会い、日々の悩みや喜びを共有することができました。中でも忘れられないのが宿泊研修です。そこで築いた絆は一生の宝物です。

赴任した大洲小学校では、先輩の先生方に何度も助けていただきました。私の悩みや質問に丁寧に答えていただきました。この十か月間で得た知識や経験はこれからの教員生活の礎になるものだと思います。そして、何よりも子どもた

ちとの出会いに感謝しています。三年二組二十六名と毎日楽しい学校生活を送っています。へたな授業でも真剣に聞いてくれる子どもたち。その姿勢に応えたく、よりよい授業ができるよう日々奮闘中です。

このように教員として務めることができるまでには、たくさんの方の支えがありました。その方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れず、日々全力で取り組んでいきたいと思えます。

夢



中 東 市 諭
宇 和 教
酒 井 麻 希

過ぎた時間は戻らない。二度と同じ瞬間は訪れない。ささいな出来事に、大きく感情が動かされる日々。さらさらと光り輝く場面の一つ一つには、いつも生徒たちの姿がありました。時には、生徒とぶつかり合うこともありましたが。光が見えず、その場から立ち去りたくもなりました。

そんなとき、私の支えとなったのが彼らと積み重ねてきた時間であり、先輩の先生方のお言葉であり、初任者研修で出会った仲間の存在でした。夢を形にしてもなお、新たな目標に向かって走り続ける仲間の姿はまぶしく、私も負けていられないと、背中を押された気持ちがありました。

教師と生徒である以前に、人と人。飾らず、率直な思いを伝えました。やっと生徒の口から本音が聞けたとき、私の頬を涙が伝いました。

「夢は見るものでなく、叶えるものだ」とはよくいったもので、夢の実現は困難を伴うだけに、その先には、えも言われぬ喜びが待っています。ですが、それまでの過程ほど、尊いものはないと私は生徒たちに教えられました。

私の更なる夢は、生徒と共に夢を見ることです。窓越しに見る月が美しいように、生徒を介して見る夢は可能性に満ち満ちています。この愛おしい時間を、彼らの成長の瞬間に携われる喜びを噛み締めながら、生徒と共に夢を形にしていきたいです。

ふるさとスケッチ

No.353

天赦園



宇和島教育会OB 清家 由佳

宇和島市にある天赦園は、伊達藩主が築庭した大名庭園で、国の名勝に指定されています。十月には「えひめ南予いやし博」のイベントとして、ここを会場に写生大会が開かれました。市街地の雑踏から一步門をくぐると、そこはまるで別世界で、大名家ならではの池泉回遊式の日本庭園が広



がっています。茶室を過ぎたあたりは四季折々の草花が咲き誇り、そこから見える白藤太鼓橋の風景はとても素敵でした。藤の花の咲く頃にまたスケッチ道具を持って行きたいと思います。

お知らせ

◆「俳画・水墨画教室」の開催について

平成二五年度の愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」の会員（受講生）を募集しています。教育会会員だけでなくどなたでも受講できます。

【実施日時】

毎月二回（第一・第三木曜日の午前10時～12時）

【講師】大倉可貴先生

【会場】愛媛文教会館

（松山市祝谷一―五―三三）

【会費】月一、八〇〇円

【体験、見学】

二月二日、三月七日、二日ほか、実施日には体験受講や見学ができます。

【受講申込み・お問い合わせ】

愛媛県教育会教育・文化振興部（☎〇八九―九四五―二五一）

【申込み期限】平成二五年三月末（年度途中の入会についてはご相談ください。）

◆俳句ポスト（投句箱）設置！

文教会館に投句箱を設置しました。専用の投句用紙のほか、はがき、メールでも投句できます。ぜひご応募ください。入選句（者）は、会館、文教月報、ホームページ等に掲載します。

◆図書室から

文教会館図書室では、教育関係図書、児童生徒用図書、教育会関係資料、句集等を自由に閲覧、貸出ができます。

◆寄贈図書

この度左記の図書等をご寄贈いただきました。

◆句集「春夏秋冬」安井禎子氏寄贈

◆大西中創立五十周年記念誌

◆仕七川小創立百二十周年記念誌

◆ふるさと北条―わたしたちにつながる先人―

◆合同句集「花」花発行所寄贈

祝 受章おめでとつございませう

◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 紀伊 房男様 88歳 元伊予三島市立三島小学校長 四国中央市
- 越智 一衛様 88歳 元西条市立南中学校長 西条市
- 岸田 俊夫様 88歳 元東予市立国安小学校長 西条市
- 土井 幹彦様 88歳 元小田町立小田中学校長 久万高原町

足跡をつづる、私を記す、形に残す。

あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり 応援キャンペーン

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積もり
- その他、ご相談承ります。

ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

松山本社/松山南藤野7丁目1 TEL(089)946-0111 東京本社/東京都港区代々木3丁目2-8 TEL(03)3377-1230 支店/大阪・高松 営業所/名古屋・福岡 http://www.seki.co.jp

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法本部 〒760-0017 高松市番町1-7-5 法人営業部 TEL087-821-6811